

# HEALTH CARE

The Newsletter of the Japan Health Care Dental Association

vol.18 no.5

(年間5回刊行・通巻104号)



日本ヘルスケア歯科学会

事務局 東京都文京区関口 1-45-15-104

Tel. 03-5227-3716

Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>

E-mail : [center@healthcare.gr.jp](mailto:center@healthcare.gr.jp)

編集代表 田中正大

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

学会入会金	歯科医師	5,000円
	その他	3,000円
学会年会費	歯科医師	12,000円
	その他	3,000円
郵便振替口座	00190-7-407895	
名義	一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会	
銀行振込口座	三菱東京UFJ 江戸川橋支店	
	普 0051809	
名義	一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会	

## 重要なご案内

### ●以下の同封物をご確認ください。

#### 1. 2016年度会費振込用紙

当学会の会計年度は、1月から12月までです。2016年度会費の払い込み用紙を同封いたしましたので、お近くの郵便局からお早めにお払込みくださいますようお願い申し上げます(行き違いになりましたらご容赦ください)。

#### 2. ウィステリアセミナー案内

#### 3. 札幌ワンデーセミナー案内

#### 4. 企画頒布品ガイド

## 催しものご案内

#### ① 歯科衛生士育成基礎コース

日時：2016年1月10・11日

会場：神戸常磐大学

#### ② 歯周組織検査相互実習研修会

日時：2016年2月28日

会場：太陽歯科衛生士専門学校

#### ③ オピニオンメンバー会議+併催講演会「根面う蝕への理解を深める」

日時：2016年3月13日

会場：東京八重洲ホール701会議室

#### ④ 歯科衛生士育成基礎コース

日時：2016年3月20・21日

会場：神戸常磐大学

ヘルスケアミーティング2016「カリエスリスクアセスメントの科学と患者指導」.....p.1	オピニオンメンバー会議 報告.....p.15
ヘルスケアミーティング2016発表者公募.....p.2	フォーラム.....p.16
事務局から.....p.2 / p.15	告知板.....p.18
ヘルスケアミーティング2015報告.....p.3	第13回認証ミーティング/認証制度改革(案).....p.19
ウィステリア Pro とアポイント管理職 III.....p.12	ウィステリアベーシックセミナー案内.....p.20
	札幌ワンデーセミナー案内.....p.20

## ヘルスケアミーティング2016 「カリエスリスクアセスメントの科学と患者指導」

田中正大 (コアメンバー)



ヘルスケアミーティング2015が終了しました。

今回は会員制度を変更して初めてのヘルスケアミーティングだったため、参加者数が気がかりでしたが、ほぼ満席となった結果に胸をなでおろしています。

1日目「臨床を振りかえる」では多くの会員に発表していただき、また、会場の設営、運営に関して数多くの皆様に支えていただきました。

会場や出席者、懇親会、ポスター等の写真をホームページで見ることができます。トップページの写真をクリックすると開きますのでぜひご覧ください。

来年のヘルスケアミーティングは10月9日(日)10日(月祝)の連休に今年と同じ秋葉原の同じ会場で行います。日程をずらしてまで予約しようとしていた会場が結局取れず、オピニオンメンバー会議での話と違ってしまったことをお詫びします。私たちもなるべく安く近い会場をと、頑張って探してはいるのですが、便利で料金の安い会場を取るのは年々難しくなっています。

さて、来年のヘルスケアミーティングの内容ですが、

参加したいと思える/楽しめる/新しい知識を得られる/発表する/交流する  
これらをキーワードに考えました。

メインタイトルは

「カリエスリスクアセスメントの科学と患者指導」

ですが、1日半の時間をA、B、Cの3つのブロックに分けます。

### A ブロック 1日目午後

テーマ 会員発表(ポスター発表&希望者による口演発表)

企画責任者 岡本昌樹(歯科衛生士の発表;担当・河野正清/医院の取り組み;担当・田中正大/歯科医師の症例発表;担当・千草隆治)

今年の会場のような大きなところではなくて、比較的小さな会場(a, b, c)を3部屋とって行います。それぞれの部屋で、1人15分の口演を6人程度を予定しています。

この後、全員参加型の交流会を企画しています。

## B ブロック 2日目午前

テーマ 「健康を守り育てる歯科診療所認証スタートライン」

企画責任者 高橋 啓, 藤木省三

ヘルスケア実戦セミナーの参加者の中から認証を目指す診療所にその取り組みをスタッフと一緒に発表していただきます。

他に、認証のポイント、認証取得後の取り組みについての発表も企画します。

## C ブロック 2日目午後 メインテーマのパート

「カリエスリスクアセスメントの科学と患者指導」

企画責任者 杉山精一, 齊藤仁, 千草隆治, 秋元秀俊

私たちの学会のスタートにおいてカリエスリスクアセスメン

トは、重要なキーワードでした。カリエスリスクについて疫学的な研究が進みましたが、これまで私たちは患者に対してどのように伝えてきたか、どのような問題があったか、現在の科学を踏まえて振りかえります。科学的事実と患者指導は、必ずしもイコールである必要はありませんが、専門家として知っておくべきこと、どのような患者指導が適切か、じっくりと考えてみましょう。

講師は現在依頼中でまだ確定していません。

まだ骨組みしか決まっていますが、このようなかたちで行おうと考えています。会員皆でつくり上げるヘルスケアミーティングです、特に A ブロックでは多くの会員の皆様の参加が必要です。今から準備しましょう。よろしく願いいたします。



## ヘルスケアミーティング 2016 発表者公募

ヘルスケアミーティング 2016 の1日目 (2016年10月9日) のプログラム (責任者: 岡本昌樹) は、会員発表 (ポスター発表&希望者による口演発表) です。

- a) 歯科衛生士およびスタッフの臨床報告
- b) 歯科医師の症例報告
- c) 診療所の取り組み

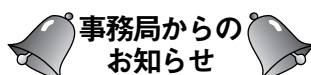
3つの部屋に分かれての会員発表です。いずれの部屋も、一定の公募枠を設け、発表者を公募します。ふるって、ご応募ください。

応募にあたって、①発表者名 (連名の場合は3名まで)、②所属医療機関、③連絡先住所、④メールアドレス (代表者1名のもの)、⑤応募ブロックを事務局宛に「ヘルスケアミーティング 2016 発表応募」と記し、メール (center@healthcare.gr.jp) またはファックス (03-3260-4906) にてご連絡ください。詳細については、お申し込み後、事務局からご連絡いたします。

a ~ c) どの部屋も、1人15分程度、6人程度の発表を予定しています。

- a) 歯科衛生士およびスタッフの臨床報告 (担当: 河野正清)
- b) 歯科医師の症例報告 (担当: 千草隆治)
- c) 診療所の取り組み報告 (担当: 田中正大)

応募前により詳しく助言を必要とする方は、各部屋の担当コアメンバーまでお問い合わせください。



### ● 会員登録内容の変更について

登録内容 (住所、電話番号、FAX 番号、e-mail アドレスなど) の変更がありましたら、事務局までファックスもしくは e-mail でお知らせください。

**Fax: 03-3260-4906 e-mail: center@healthcare.gr.jp**

事務局は月曜日から金曜日までの午前9時30分から午後5時30分までスタッフが常駐しています。お電話は時間内をお願いします

ヘルスケアミーティング **2015**

## 歯科臨床の振りかえり

2015年10月11・12日

秋葉原コンベンションホール

## 報告

**Day 1** 10月11日 「臨床を振りかえる」**Part 1** 一症例を振りかえる 全国各地のヘルスケアグループから

浪越建男 (三豊市開業)

有松稔晃 (北九州市開業)

中本知之 (神戸市開業)

志摩裕美 (歯科衛生士・おい歯科)

堀 祐子 (歯科衛生士・さいとう歯科室)

仲村麻衣子 (歯科衛生士・武内歯科医院)



## 「振りかえり」から学んだことを次に生かしていくことが大切

大嶋宏美  
(歯科衛生士・宇田川  
歯科医院)

ヘルスケアミーティング1日目の前半は「臨床を振りかえる」の企画趣旨で、全国各地のヘルスケアグループから6つの診療所の歯科医師と歯科衛生士の方々が、発表をしてくださりました。

どの診療所も症例を振りかえるにあたり、重要なのは規格性のある口腔内写真・エックス線写真・検査結果・サブカルテなどの資料を確実に残すということが共通していました。

資料をとるには、患者さんの協力が必要不可欠ですが、理解していただけない場合もあります。堀 祐子さんの発表では、子どもの放射線被曝に抵抗がありエックス線写真を撮りたくなかった母親が、初診から3年くらいで「次はレントゲンを撮ってみようか」と言ってくれました。診療に必要なこととエックス線写真撮影を強行せず、継続的な来院のなかで患者さんの意向を探りながら必要性を伝えるといった、患者さんに寄り添った対応をしていった結果です。患者さんとの信頼関係づ

くりが大切だと思いました。

志摩裕美さんと仲村麻衣子さんが症例を振りかえるなかで大切とされていたのは、患者さんとのコミュニケーションでした。セルフケアや生活背景が口腔内に反映するので、口腔内写真と合わせて聞き取りが大事だということでした。またこちらが伝えたいことが伝わっているか？ 理解されているか？ 患者さんの想いを理解できているか？ を確認するためにも、繰り返し聞き続ける、伝え続けるようなコミュニケーションをとり続けることが大切だと教えていただきました。一方的に伝えるのではなく、患者さんの声や想いに耳を傾けられる歯科衛生士でありたいと思いました。

最後に発表された浪越建男先生の症例は、衝撃的でした。他院で14年間3ヵ月ごとにクリーニング・健診を受けていたとは思えない患者さんの口腔内と抜歯した根面の多量の歯石沈着でした。歯周治療は歯科衛生士を中心とした医院としてのチ



ーム医療であり、歯科衛生士の能力がその成果を大きく左右するというものでした。私も歯科衛生士として、身の引き締まる思いで聞いていました。これからもさらに知識と技術をレベルアップする努力をし続けて、難しい症例でも無理と思わずに、失敗を糧にして次に生かせる一流の歯科衛生士を

目指し続けたいと思いました。

今回の発表を聞いて、症例を振りかえるためにも、規格性のある資料をとり続けること、それを読み取る力をつけること、そこから学んだことを次に生かしていくことが大切だとわかりました。



四家はるか  
(歯科医師・田中歯科  
クリニック勤務)

## 振りかえる余裕がなかったことを反省しました

わたしは研修終了後からすぐにヘルスケア型の歯科医院に就職し、今年で3年目になります。そのためヘルスケア型でない医院の診療をほとんど経験していません。ヘルスケアミーティングで今回の講演を聴き、ほぼすべての患者さんに初診時からの歯周組織検査、リスク評価とリスクマネジメントの結果、口腔内写真、デンタルエックス線写真などの規格性のあるさまざまな資料があるという充実した環境で、一から学ばせていただいていることが本当に恵まれていることだと実感しました。

特に印象に残ったのは、さいとう歯科の堀祐子さんの発表です。デンタルの撮影拒否という、ヘルスケア型診療で特に重要な要素である資料採得にご協力いただけなかった患者さんの症例でした。デンタルなしでの診断に不安を覚えるという点には共感しましたし、患者さんや患者さんの母親の希望に寄り添ったメンテナンスを行い最終的には次回撮影を、ということになったそうで信頼関係の形成等、大変勉強になりました。

武内歯科医院の仲村麻衣子さんの発表では、患者さん引継ぎ時の資料の重要性と患者さんへの聞き取り・コミュニケーションの重要性がわかりました。上顎前歯の例を見せていただき、口腔内写真の多さに驚くとともに、写真をお見せしたときの患者さんの反応、また長期メンテナンスに伴う患者さんの高齢化で気をつけるポイントの変化(全身疾患との関連等)が興味深かったです。

浪越歯科医院の浪越建男さんは、歯科衛生士の技術・知識の向上の大切さをお話しされました。SRPの技術の向上で最終的には抜歯適応の歯も残せる可能性が高まるということで、これは私たち歯科医師についても同じことが言えると思いました。

今回の講演を聴いて、症例の振りかえりを行うことの重要性がわかりました。そして、日々の診療で精一杯になってしまい、振りかえりを行う余裕がなかったことを反省しました。これからは振りかえりをしっかり行って今後の診療に生かし、技術・知識の向上に努め、患者さんの利益のために役立てていきたいと思います。



飯村 唯  
(歯科衛生士・田中歯  
科クリニック勤務)

## 日々を振りかえることができるのがミーティングの素晴らしいところ

私は現在の田中歯科クリニックに勤めて3年目になりますが、今回の症例発表を聞き、自分の力不足を痛感しました。勤め始めた当初に比べると口腔内写真の撮影時間が短くなったり、患者さんとお話する時間も少しずつ増えてきました。

発表を聞き、普段の診療で思い浮かぶシーンが

多々ありました。

私は果たして患者さんのために資料を使えているのか。患者さんの希望に添ってお話をできているのだろうか、と疑問が出てきました。

そして、この前はこの話をしたから、今日はこの話をしよう！ とつい自分主体に考えてしまう



ことが多いと気がつきました。

1回だけでは患者さんも忘れてしまうため、次の来院時に前回の確認を行い、その繰り返しにより患者さんの思いを理解することができる。つい伝えたまま終わってしまうので気をつけたいと思いました。

患者さんにとって必要なこと、患者さんが知りたいこと、自分が伝えたいこと、知りたいことはそれぞれ違います。そして、自分の考えを全面に出すと不信感にも繋がってしまいます。私の担当している患者さんの中には再評価まで来院が続かない方や、メンテナンスを中断する方もいらっしゃいます。来院していただいたことに感謝し、なぜ必要なのか、目的をもっと明確に伝える必要があると感じました。

今回のミーティングでは繰り返し、データをきちんと記録・管理することが大切とされています。

した。

頭では分かっていたのですが、症例発表を聞き、再認識しました。比較できる口腔内写真や記録をとる。細かい情報もDHカルテに記入する。データをきちんと理解し、患者さんに伝える技術をつける。いろんな課題が私の中で見えてきました。

また、他の歯科医院さんの患者さんを取り込むための工夫を聞けてとても参考になりました。

診療に追われ、現状に慣れてしまいやすいですが、日々を振りかえることができるのがミーティングの素晴らしいところだと思います。さっそく当院でも参考にしたいことが多々あったので、院内ミーティングで話し合おうと思います。

2日間はあっという間で、とても有意義なミーティングになりました。

次のミーティングまでに、今回見つかった課題が少しでも解決できればと思います。



## Day 1 10月11日 「臨床を振りかえる」

### Part 2 & 3 自分の医院を振りかえる+ディスカッション

小児編 寺田昌平 (姫路市開業)

成人編 宇田川義朗 (江戸川区開業)



澤幡佳孝  
(熊本市開業)

### 自分の臨床に対する態度を見直さねばと反省

寺田昌平さんと宇田川義朗さんのご講演を拝聴しまして、思うところを書いていきたいと思えます。

お二人の開業地は、姫路市と東京都ということで、地域性の違いはあるものの、開業年数・医院規模が似ているため、どのようなご講演になるのか、とてもワクワクしておりました。

臨床データを積み重ねることで「本当に臨床が楽しめている」

寺田さんは、ご自身の医院のデータを基に現在の自院の状況を、「和やか」かつ「ユーモアたっぷり

り」のエピソードを交えて、分析と考察そしてその活用と、非常にわかりやすくお話をしてくださりました。

特に印象に残っているのは、臨床データを積み重ねることで「本当に臨床が楽しめている」というお言葉でした。自院の分析からカリエスフリーは実はけっこう難しい現状であること、またメンテナンスに来ていない人も予想以上にいること、それらの傾向をつかむことで具体的な対策を講じることができ、その取り組みにはとても刺激を受けました。「メンテナンスに来ない」ではなく



て、自分たちでできることが何かあるのではないのか？」というお言葉に、「当院は果たしてどうなのだろうか？」と、深く考えるきっかけとなりました。

お恥ずかしいお話ですが、当院ではまだしっかりとデータ入力できておらず何からはじめたらいいのかとまどい、途方に暮れていました。

今回のヘルスケアミーティングへの参加はその答えが欲しくて、参加した次第です。寺田さんのご講演の最後のお言葉、

「最初は自分も不完全でした。でも不完全でもいいから、名前やカルテ番号だけでもいいから、データを入力するところからはじめてはどうでしょうか？そこから次のステップへとすすむのがみえてくるものです」に奮起させられました。

懇親会の際に寺田さんにいろいろなことを伺ったのですが、年末年始は医院のデータの管理を、休みを返上してされているとのことでした。寺田さんのその矜持に自分の臨床に対する態度を見直さねばと反省した次第です。

私は幸せ者だったとあらためて実感

宇田川さんのご講演は、「医院をふりかえてみてきたもの 開院後の14年間を振りかえり」ということで、医院のこれまでの歩みとデータ管理の現状と分析、永くかかわってこられた症例、今後の課題について、赤裸々に語ってくださりました。

私は宇田川歯科医院の元勤務医であったため、ご講演を拝聴しながら、とても感慨深いものがありま

した。さまざまな取り組みをされておられ、私が勤務させていただいたときには医院の仕組みが既にできておりました。そのような恵まれた環境で働けた私は幸せ者だったとあらためて実感いたしました。

「開業当初から来院者全員に写真を撮りなさい。ヘルスケアの仕組みでいきなさい。途中で新しいシステムを導入するのは、極めて困難になります」「スタッフは宝です。院長ひとりが突っ走ってもはじまりません。スタッフと一緒にスタートできなければいけません」ご講演を拝聴しながら、再度教えてくださったことを反芻し、熱い想いを胸に熊本への帰路につきました。

お二人のご講演を通して感じたこと…

- ・データ入力を継続していくことの大切さと入力後の楽しみ
  - ・データから見えてくることから具体的な次への改善行動をとることができること
- これらの活動はすべて院長ひとりではできないため、
- ・その意味をスタッフと共有し、協力して行動を起こすこと

これらをすべて実施したとしても、さらに取り組みべき課題があり、来院者の幸せのために私たちがしなくてはいけないことが山程たくさんあるのだということを、あらためて認識しました。まずはできることから始めていきたいと思っています。

素晴らしいご講演をありがとうございました。



## Day 2 10月12日 「臨床の振りかえり」

「ひとりでは日本の歯科医療を変えることはできない。ヘルスケアの会員がリードして変えていこう」 杉山精一（八千代市開業）

基調講演 多施設臨床研究の意義「日本ヘルスケア歯科学会が日本の歯科医療を変えていく」 豊島義博

日本ヘルスケア歯科学会の調査研究の成果を振りかえる 田中正大（川口市開業）

知りたいことを知るツール ウィステリア New ver.5.0 の実際 藤木省三（神戸市開業）

自分の診療所のメンテナンスの成績を知る 岡 恒雄（倉敷市）



澤幡佳孝  
（熊本市開業）

### まずはデータの入力をコツコツと… 10年後がとても楽しみにになりました

早く医院に帰ってデータ入力の徹底化を図りたい  
藤木さんのパートでは、臨床の振りかえりという  
ことで、実際にウィステリアを活用してどのよ  
うに「振りかえり」ができるかを、動画を交えて

わかりやすくお話してくださりました。

一人ひとりの症例、医院の総合力の結果が、少ないクリックで、いつでもどこでも見たいときに見られることをとても明快に示してくださいました。

歴史的にみて、ウイステリアは「サリバテスト」、「P 検」の入力という「記録するようなソフト」であり、杉山歯科で熟成されたノウハウを含めることで、徐々に「総合するようなソフト」に進化してきたというのは、驚きとともに、ウイステリアのソフトとしての重厚感を感じることができました。

来院履歴の入力、メモ設定の活用の実際は明日にもすぐやってみようと思いました。

口腔内写真の比較において、過去との全体的な比較はしていたのですが、口腔内の同一部位を4回分の時間経過によって比較していくやり方は特に参考になりました。医院の総合力の結果の比較のため、検索の実際を拝見してみて、早く医院に帰ってデータの入力の徹底化を図りたいと思いました。

まだ当院は開業して3年もたっていないのですが、データ入力の不備が散見され、Do プロジェクトへの参加を通じてより整備をしていきたいと思いました。

#### 「問題探求型診療」＝「診療と臨床研究の合体」

岡 恒雄さんは、「自分の診療所のメンテナンスの成績を知る」ということで、ご講演いただきました。メンテナンスの効果について説得力のある説明を患者さんにするには、自院のデータで説明することが大事だと考え、2005年からウイステリアへの入力を開始されました。その積み重ねが岡さんの論文につながるわけですが、今日までのデータを出すのに、なんと1000時間近くも時間を費やしたということを知り、驚嘆するとともに、岡さんの覚悟が伝わってきました。



メンテナンスをすれば、菌の喪失は抑制でき、その効果は高齢であるほど大きくなり、どの年齢からはじめても年齢に関係なく効果がある。そしてその効果を高めるためには、早い年齢のうちから対応をすることが大切であることを示してくださいましたが、これらが自院のデータで確信が持てるということは、とても強みになると思いました。興味深いのは、社会疫学の観点から、非メンテナンス群を考察されている点でした。とくに「孤独」が健康に及ぼす影響が大きいということは大変興味深かったです。私の開業している地域では、独居老人が多く、地域の行事に参加されていない方、地域とのつながりが途絶している方が少なくありません。

当院でも何かしらのサポートができるように今後取り組みが必要だと感じました。

ご講演の中にもありました「問題探求型診療」＝「診療と臨床研究の合体」が自院でも実践できるように、まずはウイステリアへのデータの入力をコツコツとすすめていきたいと強く思いました。10年後がとても楽しみになりました。

お二人の貴重なご講演を拝聴でき心から感謝をしております。本当にありがとうございました。



## Day 2 10月12日 「臨床の振りかえり」

### シンポジウム・ディスカッション 臨床成績が歯科医療を変える

日本歯周病学会の立場から見た臨床研究の現状と臨床データベース構築の必要性

三辺正人（神奈川県立歯科大学大学院歯学研究所 口腔科学講座歯周病学分野 教授）

小児歯科学会における臨床研究の現状 ―必要性・困難さ・問題点―

有田憲司（大阪歯科大学小児歯科学講座 教授）

日本歯科保存学会う蝕治療ガイドライン第2版の作成プロセスから

―研究デザイン中心から患者の利益重視に―

桃井保子（鶴見大学歯学部保存修復学講座 教授）

### ディスカッション

- ・日本ヘルスケア歯科学会のこれまでの取り組みの意義・問題点
- ・開業医の臨床研究実施の問題点、それをどう乗り越えるか？
- ・日々の臨床記録の積み重ねで歯科医療を変えることができるか？



臨床を振りかえることは、様々な気づきを与えてくれる。医療の質の向上において必須だとさえ思われる。なるほど、点の臨床と線の臨床の隔たりは大きい。さらに比較し共有する面のひろがりや学会活動の大きな目的だが、それを「医療を変える」ことにつなげるには何が必要だろう。日本ヘルスケア歯科学会のこれまでの学会としての臨床データの蓄積と活用は、質と量ともに他の臨床学会とは比較にならないが、しかし十分には活用されていない。開業医の集める診療データの活用

には困難が多い。

そこで今回は、日本歯周病学会からはヘルスケアの会員でもある三辺正人教授（神奈川県立歯科大学歯周病学）、有田憲司教授（大阪歯科大学小児歯科学）、桃井保子教授（鶴見大学歯学部保存修復学）を招いて、日本ヘルスケア歯科学会のこれまでの活動を紹介するとともに各学会の臨床データを活用した臨床疫学研究の成果で医療を変える試みについて報告していただいた。フロアからも活発な発言があった。



三辺正人教授



有田憲司教授



桃井保子教授



フロアから



## Day 1・2 ポスター発表

最優秀賞にうつぎざき歯科医院、優秀賞に杉山歯科医院、菊地歯科、審査員特別賞に山田美穂さんが選ばれました



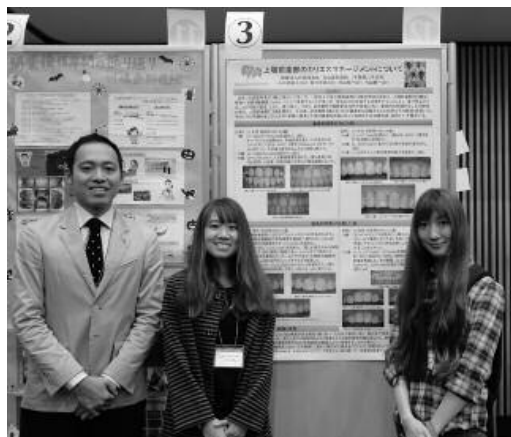
## うつぎざき 歯科医院



- ・歯列不正や口筋トレーニングに関してなかなか実践出来る機会（時間）がとれず、なれていないこともあり、すぐに臨床では出来ないかもしれないが、とても大切なことであり、もっと知識を深めたいと思いました。
- ・当院でもスポットだったり鼻呼吸を促すことを患者さんに話しているのですが、とてもまとまってよかったです。ポカン×やガムトレも当院で出来るといいなとおもいました。
- ・私の患者さんにもポカン口のお子さんが多いため、とても参考になりました。手書きでとても見やすかったです。
- ・「お口の正しい姿勢」に興味を持っているため、詳しく教えて頂きたいなと思いました。
- ・具体的な指導内容が書いてあってわかりやすかったです。医院の方でも活用していきたいです。
- ・ポスターが見やすく、何が大切なのか… などわかりやすかったです。
- ・反対咬合や開口の患者さんに対して、どのような対応をしてどのように変化していったか、とても興味を持ったのと、自分もぜひ真似させて頂きたいと思いました。
- ・舌の位置の大切さやトレーニングも良くわかって良かった。離乳食もこういった食べ方や姿勢が大事で、そこから予防が始まっているのもっとみたいです。
- ・歯を抜かないで歯列を整える。とてもわかりやすい発表だと思いました。
- ・MFTは重要と思いながらもハードルが高く、なかなか取り入れられませんが、これはやってみたいと思いました。
- ・見ている間、自分の舌に意識がいくくらいわかりやすく、身をもって体感できるポスターでした。



## 杉山 歯科医院



- ・私自身、上顎前歯に白色の残る非活動性の Code1～2 病変があります。進行が止まっているという点では安心でも、審美的な問題は残ってしまうので、早期発見すること、Code0 にしてあげることが出来れば良いなと思いました。
- ・フッ化物の積極的な使用で白濁が改善しているのが、とてもわかりやすい症例でした。
- ・コード1～2が0～1になる課程が簡潔かつ明確な言葉で説明されていて、写真も見やすくわかりやすかった。遠方からの通院でなかなか月1～3で来院出来なくても、来院時のプロケア、自身のホームケアで改善できる症例もあるのだと思った。途絶える事無く診ていくことが何よりも大切なのだとも思った。



## 菊地 歯科



- ・手指消毒など、毎日やっていることを改めて見直そうと思いました。学生時代で、自分の知識の時間がとまっていたように思います。
- ・文章が良い。
- ・とても良く考察されていて、医院に取り込んでいるのがすばらしいと思いました。
- ・厳しい言葉ですが、医療の本質についていると思います。

※投票用紙コメント一部抜粋



山田美穂さん



- ・リクルートということで、新しい目線だと思いました。お給料、勤務時間に集中して見がちだと思いました。
- ・初めて勤務する医院、それは歯科衛生士人生のスタート。そのスタートは自分にとってよりよい医院であって欲しいと望みます。このような視点で書かれたポスターが素晴らしいと思いました。
- ・学校の先生ならではのポスター発表、とても興味がわきました。これからの就活が変わっていくと良いです。
- ・医院として学生の気持ちは気になるところです。アンケート調査ありがとうございました。
- ・おもしろい発表でした。ニュースレターなどで改めて発表して頂ければありがたいです。
- ・知りたいことに対して、相方のアンケートをとるという着眼点が素晴らしい。さらに次の報告を期待します。



医) はやし歯科医院



川嶋歯科医院



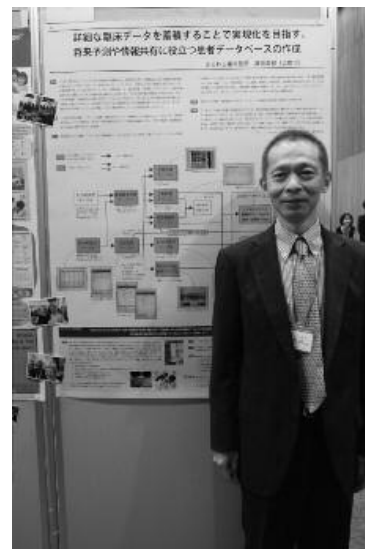
幕張ドルフィン歯科クリニック



さくら歯科医院



医) 若井歯科医院

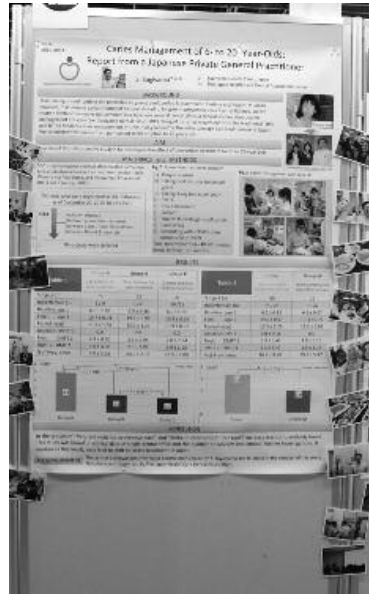


医) ふじわら歯科医院

ORCA 報告 活動報告



ORCA 藤原夏樹さん



ORCA 杉山精一さん



歯科衛生士コース



兵庫ヘルス



関ヘル阪和



ヘルスケア・ウエスト

Day 1・2 法人展示



# ウイステリアProとアポイント管理職を使ってみよう！ III (その1)



藤木省三 (日本ヘルスケア歯科学会副代表・神戸市開業)

こんにちは。ニュースレター vol.12 no.1 から連載を始めた「ウイステリア Pro とアポイント管理職を使ってみよう！ II」の続編を久しぶりに再開します。

ウイステリア Pro5.0 にバージョンアップされた会員もたくさんおられると思います。反面、新しく会員になられた方でウイステリアの名前を知っているけれど、どのようなソフトか知らない人もたくさんおられると思います。そこで今回の連載では、ウイステリアについて FileMaker® Pro やネットワークの専門家の森一弘さん (アクセス代表) と一緒に連載することにしました。

データベースソフトという何か難しそうな気もしますが、この連載で身近に感じていただければと思います。

**\*基本的な注意\***

- \*ウイステリアなどのファイル名を変えないでください
- \*バックアップは毎日必ずとりましょう
- \*バックアップが必要なファイルおよびフォルダ\*
- ・ウイステリア Photo50 ・アポイント管理職 3
- ・来院履歴 5 ・唾液量 5 ・抜歯履歴 5 ・処置履歴 5

- ・ PerioAssistant5 ・ XRAssistant111
- 〈NewFile〉フォルダ (ウイステリアに取り込んだ画像の保存フォルダ)

※旧バージョンのウイステリアをご使用の場合はファイル名が一部異なります。

## ヘルスケア型診療とウイステリア

初回は、ヘルスケア型診療にどうしてウイステリアのようなデータベースソフトが不可欠なのかをお伝えしたいと思います。

### 病因論を理解する

私たちの学会 (設立当初は研究会) では、設立当初から病因論に基づいた診療を基本にしてきました。図 1 は 2002 年のレビューコースでのスライドです。う蝕治療はう窩の治療ではなくて、脱灰と再石灰化のプロセスをコントロールすることが本来の治療です。う蝕のリスクは個人やライフステージによって変化するため、時間軸での継続したリスクコントロールが重要です。

歯周病は、歯槽骨の病気でもなく、歯根膜の病気でもなく、

プラークのみで進行する病気でもありません。また、外来病原菌を駆逐すれば治る病気でもありません。日和見的な細菌と歯周組織とのバランスを一生維持することが求められている病気です。だからこそ、歯周基本治療をおこなった後、メンテナンスが不可欠です。

このように、私たちが扱うべき疾患の病因論をしっかりと理解することが、ブレないヘルスケア型診療をおこなうための基本です (図 2)。

### 私たちは人を診ている

病因論を理解して、治療を何かガイドに沿って行えば、すべてうまくいくかといえばそうではありません。その理由は、私たちが、年齢も感受性も性格も異なる人を診ているからです。長く診ていると、思わぬ全身疾患に罹患したり、結婚、就職あ

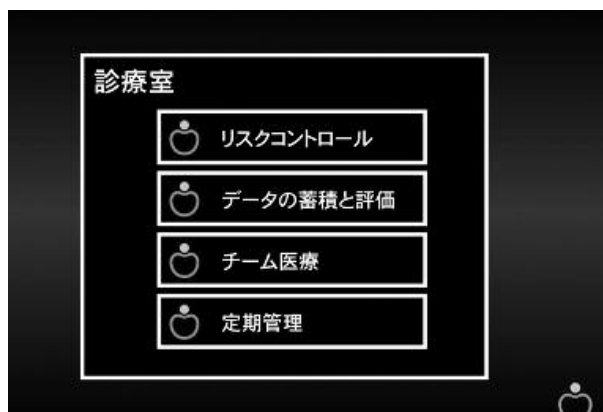


図 1



図 2



図 3



図 4

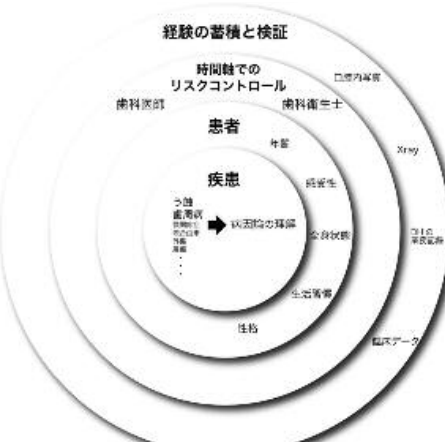


図 5

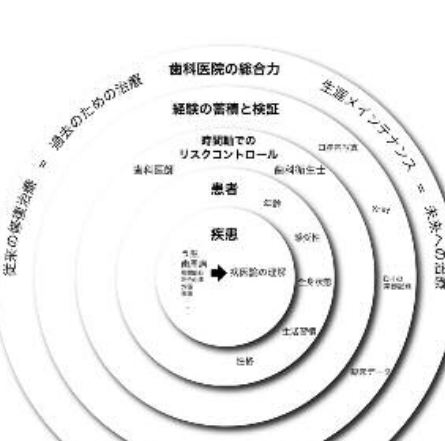


図 6

るいは退職など生活習慣が大きく変化することもあります。そういう患者を受け入れる気持ちとそれぞれに対応できる知識と技術が求められます (図 3)。

### 時間軸でのリスクコントロール

私たちが対応している疾患は、外科処置や投薬だけで解決できるものではなく継続してリスクコントロールが必要です。そのためには、歯科衛生士を中心としたスタッフが患者さんの現在の状況を問診などで常に把握しておかなければなりません。

即ち、歯科医師だけでは解決できない歯科医療です。院長は、歯科衛生士を含むスタッフとチームを組んで、診療室全体で患者を受け入れるというシステムを構築することが求められています。患者の健康を守る強い意志を持つ院長と、十分な知識技術そして豊かな人間性を持つ歯科衛生士がチームを組むことで達成できます (図 4)。

診療室全体で患者を受け入れるためには、当然、受付、歯科助手、歯科技工士などあらゆるスタッフが共通の目標に向かって努力する必要があります。

ここまではヘルスケア型診療の基本ですが、おそらくヘルスケア歯科学会以外でもこのような方針で診療されている医院は多いのではないかと思います。

### 経験の蓄積と検証

今年のヘルスケアミーティングでも取り上げましたが、図 1 でもわかるように当学会では設立当初から規格性のある記録を残し検証することが歯科臨床では不可欠だと考えています。これこそが私たちの学会が誇れるところだと思います。その検証のためのソフトがウイステリアです。

口腔内写真、X線写真、その他の臨床データは患者への情報提供に非常に有効で重要であることは間違いありませんが、それだけでは意味がありません。自分たちが毎日おこなっている診療結果を検証してこそ効果があるのかわかりませんが、問題点を見つけ出すことができます (図 5)。

森さんが書いてくださっているように、ウイステリアはデータベースソフト (FileMaker Pro) のテンプレートとして開発されているので、これから後の連載でも紹介しますが、様々な条件で検索できるのが特徴です。

### 歯科医院の総合力

私たちが毎日おこなっている診療は二つに分けることができます。一つは、「過去のための治療」です。不幸にして罹患してしまったう蝕や欠損、歯周病などを治療することです。そのためには、適切な診断と処置が求められます。いわゆる従来の修復治療です。もう一つが「未来への治療」です。発症予防のために患者のライフステージに合わせて様々なリスクを考慮し

てコントロールしていきます。生涯メンテナンスとも言えるでしょう（図6）。

「過去のための治療」と「未来への治療」をしっかりとこなうためには、毎日の努力と経験を積み重ねて、歯科医師とスタッフを合わせた総合力を高めていかなければなりません。そのためにウイステリアを活用していただければと思います。

## 〈お知らせ〉

2016年2月21日（日曜日）に神戸でウイステリアセミナーをおこないます。ウイステリアの基本と活用、ネットワークの組み方など実践的なセミナーです。今使っている方も、これから使おうと思っている方もどちらも役立つと思います。多くの方が参加していただけると嬉しいです。



## FileMaker Pro とテンプレート

森 一弘（アクセス代表）

FileMaker Pro が必要です。ネットワークで使うとすればそのパソコンの台数分必要になります。台数が増えるとその分

### テンプレートって何？

ウイステリアを動かすには、FileMaker® Pro というデータベースソフトが必要です。FileMaker Pro は、Mac や iPhone でおなじみの Apple 社の完全子会社ファイルメーカー社の製品であり、設立当初はクラリスという社名で当初は Mac 専用のソフトでしたが、後に Windows 版もリリースされました。近年では iOS に対応した FileMaker Go のリリースにより、パソコンと同じテンプレートが iPad や iPhone でも手軽に使えるようになって近年格段に知名度があがってきました。他にもマイクロソフト社の Access®もデータベースソフトとして知名度が高い商品ですが、データベースの入門用として非常にわかりやすい FileMaker Pro はお勧めのデータベースソフトです。

さて、先ほど「テンプレート」という言葉を使いましたが、「ウイステリア」はこの FileMaker Pro で動くテンプレートです。

パソコンのソフトウェアは、例えばハガキ作成ソフトなどでは、「年賀はがきを作る」など「何の仕事をさせるか」という目的がはっきりしたものが多くありますが、データベースソフトの場合は、この目的の仕事をユーザーが自分で決めて使い分けます。「ウイステリア」は、予防型の歯科をサポートするために、藤木省三先生を中心に日本ヘルスケア歯科学会の有志によりつくられた患者管理用のテンプレートということになります。

身近なところでは、表計算ソフトの Excel も似たような面があります。名簿、見積書、請求書、集計表にグラフ、目的の仕事のためにそのテンプレートを自分で作ったり、他の人が作ったものをもらって自分のデータを入力して使ったりします。ソフトとテンプレートはそういった関係です。

### 「こんな機能があればいいのに」

当然のことですが、Excel で作ったテンプレートを使うには Excel が必要です。同様にウイステリアを使うには

コストもかかりますが、ウイステリア以外のテンプレートを使える利点もありますので、先々の活用の幅も広がると思います。

たとえば、ウイステリアはカスタマイズフリーです。カスタマイズフリーとは、自分でソフトに変更を加えたり、機能を追加したりしてもかまわないということです。同じ歯科医院といえども、それぞれやること、やりたいことが微妙に違うはず。 「ウイステリアにこんな機能があればいいのに」というときには、自分なりの改良を加えることが可能です。自分で変更や追加を加えることは、そうそうできないと思われるかもしれませんが、最初に申し上げた通り「データベースの入門用」に最適なのが FileMaker Pro です。少し思い切って挑戦が可能なソフトだと言えます。ウイステリアユーザーのドクターにも独学でカスタマイズに挑戦される方も少なくありません。もちろん専門家へカスタマイズの依頼もできるので、活用の幅は無限大に広がります。

### ウイステリアサポート専用のホームページ開設

ウイステリアクラブというウイステリアサポート専用のホームページが開設されます。ここではウイステリアに関するあらゆる情報が発信されます。ウイステリアの使い方・疑問点の解決、ファイルメーカーの勉強、新たなテンプレートの提案など、初心者からヘビーユーザーまで、これからのウイステリア活用に必ず役に立つと確信しています。

#### \* 吉野ヶ里オフィス

〒 842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13  
TEL. 0952-51-1776 ・ FAX. 0952-51-1767

#### \* 弥生が丘オフィス

〒 841-0005 佐賀県鳥栖市弥生が丘 6 丁目 82  
携帯 090-1920-7894  
URL <http://www.access-pcdoc.jp>  
E-mail [kazu@access-pcdoc.com](mailto:kazu@access-pcdoc.com)



## オピニオンメンバー会議 (10月11日) 報告

日本ヘルスケア歯科学会の公益法人としての法律上の社員総会であるオピニオンメンバー会議が10月11日午前10時10分から秋葉原コンベンションホールの5階会議室で開催された。

杉山精一代表のあいさつにつづき、議長には齋藤 健氏が選出された。齋藤氏は、議事録署名人に米山吉洋氏と蓮見 愛氏を指名し、報告事項として「会員制度の改正」の結果報告、事業報告「とくに企画育成委員会の活動」についてコアメンバーから報告あった。

「会員制度の改正」は、準会員制度を廃止し、歯科衛生士の正会員化を進めるもので、歯科医師以外の正会員は年会費をこれまでの半額となる3千円に下げ、正会員として登録を勧めた。特例として今年度中に準会員から正会員に移行する場合に、入会金を免除する特典を設定した。その結果、歯科衛生士の正会員数は、2013年度に90数人だったものが2015年度には265人と3倍近くに増えた。

報告事項の議事が終わったところで、会議の成立が確認された(オピニオンメンバーの総数63名、出席47名(2名は遅刻)、議長などへの委任11名)。

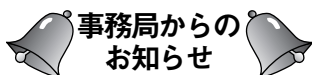
協議事項は、「ヘルスケアミーティング2016の企画」および「認証診療所の情報公開のあり方について」だった。

議案「認証診療所の情報公開のあり方について」は、ひとつにはヘルスケア歯科学会の認証診療所というものの認知度が低

い、これをどうにかしたいという問題意識から提起された議案で、認証申請をする診療所も増えないという問題に直面している。

では、どのように知らしめるかというアイデアのひとつとしてホームページ上でもっと認証診療所を分かりやすく表示してはどうか、という提案がコアメンバー内であった。しかし、そもそもこの認証診療所の仕組みをスタートさせる最初の趣旨は、転勤や転居によって患者さんが同じような診療を受けたいときに安心して紹介することができる紹介ネットワークをつくっていかうというものだった。このため、外に向かって情報発信する必要はないという前提がある。以上の説明を元にオピニオンメンバーの意見を求めた。

※詳しくは、学会ホームページの議事録をご参照ください。



### 事務局からのお知らせ

#### ウィステリア Pro 5.0 バグ修正について

ウィステリア Pro 5.0 に一部バグがありました。修正マニュアルを会員用サイトに用意してあります。お手数ですが、修正をしていただきますようお願いします。

- ・ Mac でパノラマ写真が取り込みできない
- ・ Xray14 枚 パノラマ 印刷用画面に画像が表示されない
- ・ Photo 1 拡大画面で画像が表示されない (windows)

以下の修正は修正済みファイルをお送りします。事務局までお問い合わせください。Photo 1 をご使用でない場合は修正は不要です。

- ・ Photo 1 印刷用画面に画像が表示されない



# ヘルスケア フォーラム

## 口腔を生涯守る時代の今 スタッフと取り組む患者さんの予防管理(仙台セミナー)

2015年9月13日 東北大学歯学部 教育棟

### 実施報告



中本知之 (神戸市開業)

9月13日(日)に母校東北大学歯学部で歯科医師向けの外向きセミナーを開催してきました。参加者は26名で、内訳は開業医8名、勤務医9名、研修医2名、学生7名と幅広い立場の方が参加してくれました。

昨年12月、コアメンバーの高橋 啓さんに「母校で外向きセミナーを企画できないかな」と依頼をされてからいろいろ準備を重ねてきました。今回私はフライヤーの作製、参加者集めから当日のセミ

ナー司会、演者などほとんどのことを体験できましたが、なかでも日本ヘルスケア歯科学会を知らない方に足を運んでもらうこと(参加者集め)が非常に難しい作業でした。

セミナー当日は前日までの豪雨、洪水の影響も懸念されましたが、運よく晴天に恵まれ、全員参加の盛況となりました。セミナーは藤木省三さんのイントロダクションからスタートし、中本、田中正大さんの講演を挟んで藤木さんのフィナーレ、質疑応答で締めくくりました。最後の質疑応答では事前に募っておいた質問に対して、参加者とディスカッションしながら答えていくやり方をとりました。事前質問が多く、時間を少しオーバーし



てしまいましたが、参加者は最後まで熱心に耳を傾けてくれました。

セミナーアンケートによると参加者の反応はいいようで、今後発展形のセミナーをリクエストしたい、といった意見も見られました。少人数での外向きセミナーは参加者一人ひとりとの距離が近いいため、参加者の満足度も高いようです。いろいろな立場の方にヘルスケア歯科学会を知ってもらうためのイントロダクションセミナーとして、今回のようなやり方がいいのではないかと思います。もちろんその後続くフォローアップセミナーや受け皿になる組織も必要ですので、追加企画の必要性を感じています。地方都市でのヘルスケア型診療の普及に向けて、可能性を感じた1日となりました。



### これからの歯科医師人生の道標となるような1日

神田哲聡 (生駒市開業・かみだ歯科)

定禅寺ジャズフェスティバルで沸く杜の都仙台の東北大学歯学部構内で『口腔を生涯守る時代の今~スタッフと取り組む患者さんの予防管理~』というテーマで藤木省三さん、田中正大さん、中本知之さんにお話をいただきました。

卒業以来の母校訪問で、同窓生や先輩、後輩や遠く福岡から出席された方など多くの同じようにヘルスケア型診療に興味を持つ方たちと交流することができました。診療所のシステム自体をヘルスケア型に変更していこうとしている私にとって同じ志をもった仲間とであうことがで

きました。特に若い歯科医師たちの参加が多く、ヘルスケア型診療が今後も支持されていくスタイルであろうことを確信することができました。

藤木さんの講演では『院長の仕事と歯科医師の仕事は別』という話と、病因論を理解することが大切だということが響きました。ルーチンであれやこれやと手を動かすことばかり考え、何故こうなったか? 今後どうすることが必要なのか? 考えてなかったことを戒められた気がしました。

田中さんの講演では症例を通じてヘル

スケア型診療の魅力を伝えていただきました。いずれの症例も患者さんとの長いつきあいのなかで、いいときもあり悪いときもあり、生活背景も考慮しながらずっと寄り添って診ていくことの素晴らしさがよく理解できました。何かトラブルが生じたときに資料(口腔内写真やエックス線写真)があればさかのぼって考えることができるのは、すべての患者のデータを常に採り続けているからこそ振り返り考察できるのだと思いました。自分自身が今採り続けている資料がこのように役に立つ日が来ると信じて継続していきます。

中本さんの講演では開業2年目より保存修復型の診療スタイルからヘルスケア

型診療のスタイルにどのように変換していったかを話していただきました。私たちのような開業間もない者にとっては身近なモデルになりました。『走りながら着替える』というフレーズはまさしく中本さんにぴったりで、院長としての行動力が何よりも重要だと改めて感じました。「スタッフのモチベーションが…」という前に院長のモチベーションを高めなければならないと反省しました。

今回の講演は講師の皆さんがそれぞれ60歳代、50歳代、30歳代とそれぞれ年代が離れていたため、これからヘルスケア型診療所にしていこうと考えている者にとっては、これからの歯科医師人生の道標となるような講演でした。

昨年の夏以降、口腔内写真やエックス線写真撮影に取り組んできた当院にとって次にやるべきこと

は自分医院のデータを採り分析することだ！と確認することができました。



## 歯科衛生士研修会 口腔内写真撮影相互実習研修会

2015年9月13日 太陽歯科衛生士専門学校

撮影技術面だけではなく、細やかな配慮も



井手口明子（歯科衛生士・ヒロデンタルクリニック）

午前中は歯科衛生士の山田美穂さんによる講義、午後の実習は始めに一連の撮影の流れを3分以内で行っているVTRを見せていただき、口角鉤の誘導や唾液除去のタイミング等スムーズに行えるよう脳裏に焼きつけました。受講者がペアを組みインストラクターの方がついてくださって、受講者の口腔内でのデモンストラーションの後マンツーマンで手取り足取り指導していただきました。私自身は矯正歯科専門医院での規格写真撮影には慣れていたものの、舌口蓋側面用ミラーを用いた撮影を正しく習得するのが目標

でした。

山田さんから教わった「ミラーポケット」や「ファイブステップ」を心の中で復唱しながら、インストラクターの仲村麻衣子さんから撮影した画像を見て指摘していただいた点に注意しながら、今後も臨床に生かしていきたいと思います。撮影技術面だけではなく、術者と患者さんの身長差への対処法やアワーを掛ける実際の動作やガーゼの活用など細やかな部分まで教えていただき、早く患者さんの口腔内を撮影したい衝動に駆られました。

記述が前後いたしますが、口腔内写真



は、患者さん自身に自分の口腔内がどうなっているかを見てもらい、効果的な説明により患者さん自身が自分の意志で口腔疾患の改善へと向かうための第一歩であると、午前中の講義で教わりました。規格性のある口腔内写真をいつでも撮影できるよう、患者さんへの配慮や自分の身体への負担も考慮しながら日々積み重ねて行こうと思います。「健康を守り育てる歯科医療」をめざして。



## 歯科衛生士育成プログラム 基礎コース(2015年度)

2015年11月14・15日 神戸常磐大学

第10期の基礎コースが11月14日、15日の両日、神戸常磐大学で開催されました。2016年1月と3月に2日ずつ、今回と合わせて6日間のコースとなります。

1日が終わるころには打ち解けて…  
(1日目)



谷岡尚子（歯科衛生士・芦田歯科医院）

私が今回、歯科衛生士育成プログラムの基礎コースに参加するきっかけとなったのは院長からの薦めでした。それまで日本ヘルスケア歯科学会という存在を知らず、認定歯科衛生士がどういうものなのかもまったくわかりませんでした。



専門学校を卒業してから11年、何となく歯科衛生士業務をしている自分はこのままでいいのか？ 疑問はあるものの行動に移せず悩むこともあり、参加を申し出ました。

1日目の午前中は「ヘルスケア歯科診療の概念」「システムの流れと歯科衛生士の役割」「歯科衛生士コース概要説明」についてお話を伺いました。

今まで口腔内写真を撮影したことがなく、定期検診にいらしても歯周組織検査の数値とカリエスの有無ぐらいしかわかりませんでした。しかし、しっかりとデータを残しておくことが患者様や、私たちにとってもわかりやすく大切なんだと感じました。

すぐに実践できるものは取り入れ、必要な知識や技術はこれからしっかりと身に付けていきたいと思います。

午後からは「患者さんを動かすコミュニケーション」について伺いました。

初対面の方とお話をするというのはとても緊張や不安がありますが、ポイントをいくつか押さえることでうまくいくものだと知りました。

実際に初対面の歯科衛生士の方々とお話をする実習をしたのですが、最初は緊張して何を話せばいいのか焦るばかりで

したが、いつの間にかお互いが笑顔になり、話が弾んでとても楽しい実習となりました。

また、患者様とお話をするについ、伝えたいことが強くて否定的になったり、話にまとまりがなくなってしまうので話のテーマを設定し、「ツリーフォーメーション」を頭に浮かべながら説明できるよう心掛けたいと思います。

医院から一人で参加したので不安で仕方なかったのですが、1日目が終わるときには他の歯科衛生士の方々と打ち解けることができ、同じ目標に向かう同志がいることで刺激となりました。

6日間のプログラムをしっかりと吸収して自分のものにできるよう努力します。

### 患者さんの気持ちも身をもって体験 (2日目)



平井真帆 (歯科衛生士・丸山歯科医院)

今回の基礎コースを受講するにあたって、楽しみな反面、とても緊張しましたし、不安もありました。しかし、1日目にコミュニケーションの講義と懇親会で他院の受講生と交流する機会があったの

で、あ、あのときの！ という感じで2日目の口腔内写真、歯周組織検査の実習は和やかな雰囲気の中で相互実習が行えました。口腔内写真の実習では、事前アンケートに記入した苦手部位をマンツーマンでとても丁寧に、分かりやすく教えてくださったのでこれから苦手部位を克服できるように練習に励みたいと思います。歯周組織検査の実習でもほぼマンツーマンでみっちり見ていただきました。術者としての技術はもちろんですが、患者役をすることで患者さんの気持ちも身をもって体験することができました。患者さんの気持ちを理解し、配慮や気遣いをレベルアップさせたいと思います。こうした基本的な技術をしっかりと身につけ、健康を守り育てることのできる歯科衛生士を目指したいと思いました。

わからないことや、できないことがあるとき私の練習につきあってくれたり、すぐに教えてくれる先輩の存在や環境にも改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

不安だったコースもあっという間に2日間が終了しました。残りの4日間も自分のものにできるようしっかり吸収したいです。よろしくお祈りします！



#### ○ウイステリア ベーシックセミナー

日時：2016年2月21日(日)

10:00～16:00

場所：神戸国際会館会議室 805号室

講師：藤木省三

森 一弘 (アクセス代表)

参加費：医院単位

1人目 12,000円

2人目～3,000円/1名

※昼食の用意はありません

定員：40名

内容：より多くの方にウイステリアを正しく知っていただき、患者様のために十分に活用していただけたら幸いです。

お申し込み：日本ヘルスケア歯科学会事務局 center@healthcare.gr.jp

#### ○オピニオンメンバー会議

日時：2016年3月13日(日)

場所：東京八重洲ホール 701会議室

午前：オピニオンメンバー会議 (2015年度決算代議員会)

併催講演：久保至誠 (長崎大学歯学部保存科准教授)

併催講演は、オピニオンメンバー以外の方も無料で聴講いただけます。

#### ○札幌ワンデーセミナー

日時：2016年7月17日(日)

場所：かでの2・7 4階大会議室

道民活動センタービル4階

参加費：会員歯科医師 8,000円

会員スタッフ 6,000円

非会員歯科医師 13,000円

非会員スタッフ 6,000円

※参加費に昼食代を含みます。

お申し込み：日本ヘルスケア歯科学会事務局 center@healthcare.gr.jp

#### ○第13回認証ミーティング

日時：2016年7月3日(日)

場所：東京八重洲ホール

(<http://yaesuhall.co.jp/>)

併催講演会 未定

#### ○ヘルスケアミーティング2016

日時：2016年10月9、10日(日・月祝)

場所：秋葉原コンベンションホール

千代田区外神田 1-18-13

テーマ：カリエスアセスメントの科学と患者指導

※2日間を3つのセクションに分けて、計画中



敬称略

## 第13回 認証ミーティング/併催講演会

※併催講演会の内容は未定です

2016年7月3日(日) 12:30～(予定)

東京八重洲ホール(地下ホール)(東京駅八重洲口) 東京都中央区日本橋3-4-13 (<http://yaesuhal.co.jp/>)

● 認証申請：3月末日 締め切り(2016年度認証ミーティングの認証診療所)

認証ミーティングのエントリーには、認証申請の後、患者アンケート調査が必要です。この調査には、配布から回収および集計を考慮すると3カ月近くを必要とします。このため、3月末日をもって認証申請を締め切ります。心づもりのある方は、お早めに申請をしてください。

● 公募条件：ステップアップガイドの必要条件 ([http://healthcare.gr.jp/newhp/?page\\_id=106](http://healthcare.gr.jp/newhp/?page_id=106)) をクリアしていること。  
メンテナンス率について以下の基準をクリアしていること。

基準1 メンテナンス来院

月の来院者総数

ヘルスケア型診療に移行して経年的に増加するが、30%以上になっていることが望ましい

基準2 メンテナンス来院者数(2015年)

2012年純初診来院者数

診療所の来院患者の年齢構成、人口流動性、地域性、紹介患者率などによって全く異なるので一律の数値は求めない。

### 認証制度改革について(案)

斉藤 仁(コアメンバー)

オピニオンメンバー会議(10月11日)の議論(議案：認証診療所の情報公開のあり方について)を踏まえて、コアメンバー会議では「健康を守り育てる診療所」認証制度の検討作業を始めています。以下、検討作業の責任者である斉藤仁氏が、コアメンバーに対して提案した改革案の概要です。今の段階では、あくまでも斉藤私案であり、具体的な内容はまだ示されていませんが、ご意見をお寄せください。

本会の認証診療所制度は、「健康を守り育てる歯科医療」を「それを望む患者さんすべてに対して」、「実践している診療所」を全国に広く普及させることを目的とした事業で、設立主旨に基づいた我々の活動の大きな柱の一つである。

医療系学会の中においてほとんど流行のように進められている認定医、専門医制度とは一線を画する患者本位の制度であり、患者にとってもまた、医院側にとってもメリットの大きい制度であるにも関わらず、その認知度は低く、認証申請は極めて低調である。認証診療所を増やし、多くの国民が「健康を守り育てる歯科医療」を受けられるようにするためには会員に対して何らかのインセンティブを与える必要があると考え、以下の取り組みを提案する。

1) 国民に対して認証制度を認知させる取り組み

現在全国に現在48の認証診療所があるが、この診療所に来院している患者でさえも自分が通院している診療所が、日本ヘルスケア歯科学会の認証診療所であり、それがどういうものなのかということを理解していないと思われる。

よって、まずはこの48の認証診療所に協力してもらい、来院している患者すべて、またこれから来院する患者に対して認証診療所を知ってもらい、その情報を拡散してもらう。

認証診療所に来院している患者に対して

\*待合室に認証制度について解説したパンフレット、ポスターを置く(学会で用意)。

認証診療所にこれから来院する患者に対して

\*学会で認証診療所を示すバナーを用意し診療所のサイトにリンクを張る。

2) 歯科衛生士学校に対して認証制度を周知させる取り組み  
歯科衛生士学校とのつながりを利用して認証診療所に歯科衛生士が集まる仕組みを作ることで、会員が認証を目指すインセンティブにする。

\*年に数回全国の歯科衛生士学校に対して、認証診療所の案内を送る。

\*認証診療所における歯科衛生士定着率などのデータを作成し、学校に提示する。

3) 現会員、新入会員に対して

認証診療所になることのメリットをまとめた歯科医師向けのパンフレットを作成する。

\*学会のホームページをリニューアルし、メニューのトップに大きく「認証制度」がくるようにする。

# ウイステリア ベーシックセミナー

in Kobe

2016年2月21日(日) 10:00 ~ 16:00

神戸国際会館会議室 805 号室 (神戸市中央区御幸通 8-1-6)

臨床データ管理ソフト「ウイステリア」がバージョンアップしました。多くの方にご利用いただいておりますが、「使い方を正しく知りたい」「もっと活用したい」という声も聞かれます。そのご要望にお応えべく、開発者の藤木省三さん、ウイステリア・サポート担当の森一弘さんお二人による、セミナーを企画いたしました。実際に入力するスタッフにも聞いてもらえる内容となっております。医院へのウイステリアの導入、院内でのウイステリアの活用の見直しにとってもよい機会となっております。

## □プログラム

ウイステリアの概要と基本的な使い方 藤木省三  
院内ネットワークの構築 森一弘(アクセス代表)  
ウイステリアの活用 藤木省三  
質疑応答

※ハンズオンのセッションもありますので、パソコンをお持ちください。ウイステリアを現在お使いでない方も、当日試用版をご利用いただけます。(試用版は FileMaker Pro 不要です)。

## □参加費

診療所単位でお申し込みください。  
1人目 12,000円(職種問わず)  
2人目 ~ 3,000円/1名  
※昼食の用意はありません

□定員 40名

## □お申し込みは…

日本ヘルスケア歯科学会事務局まで FAX または email にて Fax 03-3260-4906 center@healthcare.gr.jp  
このニュースレターに同封のパンフレットをご利用ください。



# 札幌ワンデーセミナー

2016年の夏は札幌に行こう!

2016年7月17日(日)

かでの2・7 4階大会議室 (道民活動センタービル4階)

- 歯科診療の基本って何ですか?
- 歯を守るために歯科として何ができますか?
- 歯科衛生士が力を発揮する臨床とはどんな臨床でしょう?

上記の問いに日本ヘルスケア歯科学会は、一つの答えを持っています。予防歯科という言葉だけに限定される臨床ではありません。歯を守る診療とは何か? 歯科の基本とは何か? といったことに医院皆で目を向けてみませんか?

## □講師

藤木省三(神戸市開業 日本ヘルスケア歯科学会副代表)  
高橋 啓(愛媛県開業 コアメンバー 北海道医療大学 11 期卒)  
大友 康資(札幌市開業 北海道医療大学 8 期卒)  
山本 修平(神戸市開業 北海道大学 28 期卒)  
斉藤 仁(札幌市開業 コアメンバー 北海道大学 19 期卒)  
丸山 和久(神戸市開業 北海道大学 16 期卒)  
現場の歯科衛生士も3人登壇予定です!

## □参加費

歯科医師 会員 8,000円  
非会員 12,000円  
スタッフ 会員 3,000円  
非会員 6,000円

※参加費には昼食代が含まれます

## □お申し込みは…

日本ヘルスケア歯科学会事務局まで FAX または email にて Fax 03-3260-4906 center@healthcare.gr.jp  
このニュースレターに同封のパンフレットをご利用ください。

